

未来に向けた新しい取組



岩槻

城下町・人形のまち岩槻を

歴史と文化が息づくふれあいのまちに

まち全体を景観的にも歩行性にも優れた空間にするために、まちなみと調和したまちづくりを進めています。

裏小路は、歴史的な風情のある建物に合わせた石畳調の道路に。

住民主体の「裏小路まちなみづくり協議会」と市が協働して進めています。



与野

中央区役所周辺における公共施設の再編とデジタル化の推進

多くの公共施設が集積する中央区役所周辺。老朽化の進んでいる区役所をはじめとした周辺の公共施設について、複合化・再配置に取り組みます。市民などの利便性向上に向けて、再編する施設においてデジタル技術の活用を検討し、中央区役所周辺のデジタル化を推進します。

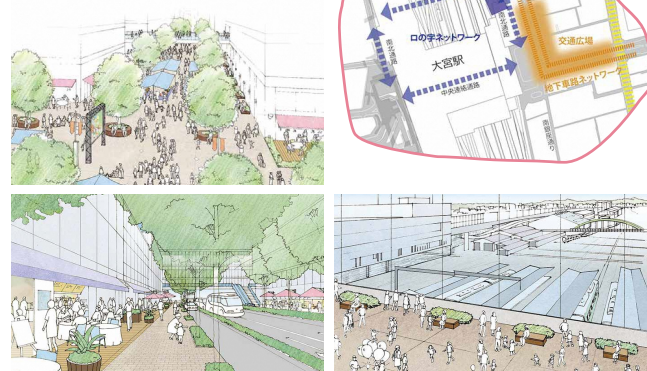


大宮

まちと駅をつなぐ新しい基盤を 大宮GCSプラン2020

令和3年、大宮駅周辺の整備方針や取組について「大宮GCSプラン2020」にまとめました。駅に新東西通路と南北通路を整備し、ロの字ネットワークを形成。どの方面にもアクセスしやすい、より便利な駅を目指します。

東口では、駅前交通広場を再整備する計画を進めています。歩行者優先となる駅前空間を、まちづくりと連携した公民連携により整備する予定です。



初の公共施設リノベーション

Bibli (ビブリ) 誕生

旧大宮図書館の建物の存続を望む地元の声に応え、市が建物を貸し出し、民間事業者の手でリノベーション。新たな複合施設「Bibli」として令和3年12月にオープンしました。観光拠点、地域ビジネスの拠点、大宮らしさの発信拠点として、観光客や地域住民に訪れていただく施設として運営されています。



Bibliのウェブサイト

市民参加型コンペ

マチミチコンペ in 大宮ウォークアブルシティ

「大宮らしさ」を活かした、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成に向けたアイデアを募集しました。今後は、提案されたアイデアを、「大宮駅周辺ウォークアブル推進戦略」に位置付け、その実現を目指していきます。



にぎわいのある、安心・安全なまちに

再開発 大宮駅西口第3-B地区

大宮ソニックシティの北側で再開発事業が進行中です。2棟からなる商業業務施設と集合住宅を備えたビルが、令和6年に完成予定。タウン名称は「大宮サクラスクエア」に決まりました。



Q.1 今号の広報誌 korekara の誌面の満足度について、10段階評価で当てはまる数字を選んでください(数字が大きいほど満足度が高い)。

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

Q.2 広報誌 korekara をどこで入手しましたか？

- 公民館、コミュニティセンター □ 区役所・市民の窓口 □ 図書館 □ 駅構内 □ 銀行・郵便局 □ その他()

Q.3 興味を持った記事を選んでください(複数選択可)。

- さいたま新都心のまちづくり(1・2頁) □ 公園とみどり(3頁) □ 交通(4頁) □ 岩槻・西大宮・日進・浦和美園・与野駅周辺の拠点づくり(5・6頁) □ 浦和・武蔵浦和・大宮駅周辺の拠点づくり(7・8頁) □ 未来に向けた新しい取組(9・10頁) □ シェア型マルチモビリティの実証実験(裏表紙) □ 特になし

Q.4 掲載されている2次元コードから過去の記事や関連ページを見ましたか？

- 見た(具体的な記事、関連ページ:) □ 見たいと思っている □ 見たことはない・見る予定はない

Q.5 これまでの広報誌 korekara の記事を見て、掲載されている場所に実際に足を運びましたか？

- 行ってみた(具体的な場所:) □ 行きたいと思っている □ 行ったことはない・行く予定はない

今後、まちづくりの取組に関して知りたいことなど、ご自由にお書きください。

西浦和駅周辺

住民と行政の協働のまちづくり

西浦和駅周辺では、地元まちづくり団体を中心に活発なまちづくり活動が進められ、駅の南側には、UR都市機構による団地再生事業が進められている田島団地、西側には産業集積拠点検討エリアがあります。令和4年1月には「西浦和駅周辺まちづくり方針」を策定。『住民と行政の協働のもと、自然・文化・産業を生かしてあらゆる世代が活躍し、安心・安全で住みやすいまち』を目指します。



関連ページはこちら

市民の手でまちを育てる エリアマネジメント

アーバンデザインセンター大宮 (UDCO)

UDCOでは、地元商店街や民間事業者、行政等と連携し、街路・沿道の一体的利活用により大宮らしい新たなパブリックスペースの創出を目的とする社会実験「おおみやストリートテラス」を実施しています。また、緑化滞在空間の創出と維持管理費の調達を目的とした「ストリートプランツ」では、街路植栽の配置などによる居心地がよい空間づくりに取り組んでいます。



UDCOの情報は



twitter

浦和

魅力ある都心拠点を目指して (仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン

市の都心拠点の役割を担う浦和駅周辺地区では、浦和らしい風格ある都市づくりを進めるために「まちづくりビジョン」の策定を進めています。令和3年11月には建築家の隈研吾さんをはじめとする有識者の方々をパネリストに招き、(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン有識者懇話会(第2回)を開催。まちづくりビジョンは、令和5年3月策定予定です。今後の進捗にご注目ください。



建築家隈研吾×さいたま市長スペシャルトークセッションや、浦和駅周辺のまちづくりニュースレターなど、ビジョンの検討状況は、こちらからご覧いただけます。



新たな大型複合施設建築計画が進行中 再開発 浦和駅西口南高砂地区

浦和駅西口南高砂地区の再開発事業では、地下2階地上27階建のビル建築計画が進行中です。商業施設や業務施設、住宅を備えたビルには「市民会館うらわ」が移転する予定。公共施設と商業施設が融合した新たな大型複合施設により、浦和駅周辺のにぎわいがさらに拡大することが期待されます。



令和7年度に完成予定